



投資ファンドのアスパラントグループ、金属メッキ加工のFCM<5758>をTOBで子会社化



投資ファンドのアスパラントグループ（東京都港区）が組成するアスパラントグループSPC5号（同）は、金属メッキ加工や電線用伸線加工を主力とするFCM（ジャスダック上場）をTOB（株式公開買い付け）で子会社化すると発表した。第1回TOBでまず古河電気工業が保有するFCMの保有株式（所有割合55.2%）のすべてを取得する。そのうえに残る株式を第2回TOBで取得し、完全子会社化を目指す。

買付価格は1株あたり3050円で、TOB公表時点の直近取引成立日（10月30日）の終値3600円に対し15.3%ディスカウントした価格。買付代金は約28億6000万円。FCMの親会社である古河電工は保有株式のすべてを応募することで合意している。買付期間は2018年11月2日から11月30日。決済の開始日は12月7日。公開買付代理人は大和証券。

第2回TOBの買付価格は1株4200円。直近取引成立日の終値に対して16.7%のプレミアムを加えた。買付代金は約32億円となる見込み。